

登録コード	ASJ03692	開講年度	2026				
授業科目	特別研究					担当教員	若林 剛志
英文授業名	Graduate Research					副担当	
単位数	10	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ						
	【専攻】生命科学, 食品科学, 食料生産および環境の保全と修復などの分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。				⇔	農業経済学の分野における幅広い体系的な基礎学力と問題に対する確かな分析・研究能力を修得している。	
	【専攻】農学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。				⇔	農業経済学の分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 当該分野で研究成果を発信できる能力を修得する。	
授業の概要	農業経済に関係する研究課題を設定し、資料収集・社会調査等を通じて研究を遂行し、随時論点について議論しながら、成果を修士論文にまとめます。また、その過程で学会などで発表できるプレゼンテーションの訓練を行います。						
Contents:	Students will acquire various of skills such as social research and analytical methods through conducting their own research in agricultural sciences.						
授業計画	1. 研究課題の設定と研究計画の策定（情報収集） 2. 研究に必要な知識と技術の習得（分析方法等） 3. 研究の実施 4. 調査・データ検討会（随時） 5. 中間発表会や学会に向けたプレゼンテーションの訓練 6. 研究の継続（2年次） 7. 研究成果検討会 8. 補足調査・追加分析（適宜） 9. 修士論文の作成 10. 最終試験（修士論文発表会）に向けたプレゼンテーションの訓練						
成績評価の方法	目標達成度、研究に対する取り組み姿勢、修士論文の完成度（論文審査委員会による審査）および最終試験により評価します。秀：90～100点、優：80～89点、良：70～79点、可：60～69点、不可：59点以下とします。						
成績評価の基準	提出された修士論文について、既往文献の到達点の確認、課題設定の適切さ、構成、論理展開、論点に対する研究データと学術情報に基づいた十分な考察が行われていること等を総合的に評価します。						
事前事後学習の内容	社会調査を行った後は、データを吟味し、何が明らかになり、何が不足しているか等、常に考察を行い、次につなげる姿勢を取り続けてください。 また、関連する文献は、幅広く収集し、整理して、自らの研究の糧とするよう心がけてください。						
履修上の注意	研究データは学術論文などで一般公開されるまでは、「秘密保持」の意識が必要です。また、社会調査において個人情報を収集した場合は、ルールに沿って取り扱うよう注意してください。						
質問,相談への対応	随時対応します。						
学生へのメッセージ	充実した学生生活と研究論文として耐えうる修士論文作成のため、指導教員と随時連絡を取りながら課題および研究に取り組んでください。						
【教科書】	特に指定しません。						
【参考書】	適宜紹介します。						